

令和2年5月27日

生徒・保護者の皆様へ

横浜創英中学・高等学校

校長 工藤 勇一

分散登校に関する基本的な考え方について

昨日、学校再開に向けてのお知らせをホームページに掲載し、教職員は分散登校に向けた最終準備に入ったところです。

本校では、一学期間はオンライン授業を継続し、その間の分散登校は週一回にとどめる予定です。すべての制約が解除された時点で、完全登校に移行したいと考えています。ただし、生徒の主体的な課外活動などについては、状況をみながら段階的に再開させたいと考えていますので、その際には改めて連絡を致します。

分散登校を週一回とした理由は、以下の二点です。

- 1 分散登校の回数を増やした場合、授業確保は難しく、本校ではこの間に定着したオンライン授業によって授業の質と進度を十分に維持できること。
- 2 分散登校を最低限にすることで、通学時の密集や密閉空間などの条件が発生しないように配慮し、生徒一人ひとりの健康と安全を確保できること。

分散登校の内容は、オンライン授業の学習状況を測るためのリフレクションテストと、生徒同士のつながりを深めるためのホームルーム活動が中心となります。朝のHRはラッシュアワーの時間帯を避けるために9時20分に設定し、教室に入る生徒の人数も21名以内になるよう環境を整えます。

なお、オンラインの環境が整わない場合は、登校して学校でオンライン授業を受講できる態勢も整えておりますので、希望される方は担任に相談されますようお願い致します。

問合せ先

横浜創英中学・高等学校

教頭 本間 朋弘

TEL:045(421)3121